



問 不登校生徒の高等学校入学者選抜に係る調査書について問う

高等学校入学者選抜において、高等学校で学ぶ意欲や能力を有する不登校生徒について、適切に評価することが望まれると考えるがどうか。

また、その保護者や生徒に対して、どのように働きかけていくのか。

答 さまざまな場面での学習状況を把握して評価している

調査書には、不登校生徒が多様な機会において取り組んだ学習状況などについても十分に把握した評価として記載するよう努めている。また、生徒の学習状況などに係る情報共有を高等学校に対して行う場合もある。

保護者や生徒への働きかけについては、家庭訪問等で担任以外にも進路指導主事等が関わりながら、多様な学びの機会についての紹介や指導要録上の出席扱いとなる場合についての説明を行うなど、さまざまな不安感等に寄り添った丁寧な対応を行うよう、各学校に対し引き続き指導していく。

その他の質疑・質問

- 農業委員会タブレット端末導入事業について
 - 今後の運用スケジュールについて
 - 運用するためのソフトは
- 財産管理課への庁舎等保全担当副参事（兼）建築修繕支援担当副参事の配置について
- 津市のブランディングロゴマークの作成を

など

不登校児童・生徒への支援の在り方について



問 避難行動計画「マイタイムライン」を市独自に作成する考えは

近年、地球温暖化という気候変動の影響もあり、風水害が激甚化している。特に平成の終わりから令和の初めにかけて、避難の遅れにより、多くの方々が犠牲になった。台風のように発生してから発災までにリードタイムのある災害に対して、状況をあらかじめ予測した上で、誰が何をするか防災行動を時系列で整理する、避難行動計画「マイタイムライン」を市独自に作成する考えは。

答 国土交通省の手引き等を利用し、引き続き啓発に取り組む

マイタイムラインは、台風の接近や河川の水位上昇等に合わせて、自分自身の行動を時系列に整理し、まとめたもので、避難判断のサポートツールとして活用することで、逃げ遅れゼロに向けた効果が期待できる。津市においても、有効なツールであると捉えており、防災学習会や避難訓練等でマイタイムラインの紹介や、その効果などについて周知を行っている。

今後も、これらの取り組みに加え、国土交通省のホームページに掲載されているかんたん検討ガイド等を活用してもらえよう、市のホームページにリンクを貼るなど、引き続き啓発に取り組む。

その他の質疑・質問

- コロナ禍における孤立・孤独対策について
 - 中高年世代の出会い応援事業を
 - グリーフケアの推進を
- 防災気象情報と警戒レベルの周知について
- コロナ禍における女性の就業対策について
 - 働く女性への影響は
 - 女性デジタル人材の育成を

など

内閣府・消防庁の警戒レベルポスター。レベル4までに避難を

